

第 56 期

報告書

2014.4.1 ▶ 2015.3.31

1p	トップインタビュー センサテクノロジーを通じて、 安全・安心・快適な環境創りに貢献してまいります。
3p	「中期経営計画2012-2014」のまとめ
4p	トピックス
5p	事業・商品紹介と商品別営業の概況(連結)
7p	連結財務諸表
9p	個別財務諸表
10p	新商品紹介
11p	株式の状況
12p	ネットワーク
13p	会社概要
14p	株主メモ



JASDAQ

証券コード：6824

新コスモス電機株式会社

トップインタビュー

Top Interview



センサテクノロジーを通じて、安全・安心・快適な環境創りに貢献してまいります。

代表取締役社長

重盛 徹志



Q

2014年度の業績について説明いただけますか。

A

現在の経済環境は、さまざまな経済政策の効果などにより雇用や所得が改善傾向にあることを受け、個人消費は底堅い動きとなっており、また設備投資も製造業を中心に緩やかに増加しており、景気全体として回復基調にあるのではないのでしょうか。

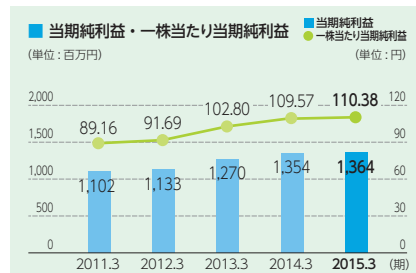
このような環境の中、当社グループは、家庭用ガス警報器や住宅用火災警報器、工業用定置式ガス検知警報器、携帯用ガス検知器といった保安・防災機器から、医療分野、室内の空気質検知、さらには省エネルギーに貢献できる機器の開発などへ、その展開を広げています。当社グループはお客さまの視点に立った開発を行い、お客さま満足度のより一層の向上を目指しています。

2014年度は家庭用のLPガス警報器の新商品、産業用の分野では、安全性に配慮した設計でスマートなデザインとなった多点式ガス検知警報器や、冷媒として使用されるフロンガスの漏洩を検知するフロンガス警報器のラインナップを拡充するなど、みなさまに新しい商品をお届けすることができました。また、都市ガス用の天井直付タイプのガス・CO警報器で2014年度のグッドデザイン賞を受賞することができました。

昨年9月には新センサ工場も竣工し、現在本格稼働に向けた準備を着々と進めています。

こうした事業活動の結果、家庭用ガス警報器の売上は減少したものの、工業用定置式ガス検知警報器、業務用携帯型ガス検知器の売上は順調に推移し、売上高は191億8千9百万円と前期に比べ1.3%の増収となりました。また、利益につきましては、経常

財務ハイライト (連結)



利益は前期に比べ4.4%増の22億3千7百万円、当期純利益は前期に比べ0.7%増の13億6千4百万円となりました。

Q 株主のみなさまへの利益還元について お聞かせ下さい。

A 当社グループとして、株主のみなさまへの利益還元は、配当性向を考慮した安定した配当を継続することで行なっていきたいと考えています。前期はみなさまのご支援もあり利益が計画通りであったことから、配当につきましては当初の予想の通り24円とさせていただきます。

Q 2015年度の見通しはいかがですか。

A 社会全体でみると、景気は企業活動を中心に回復基調にはあるものの、原油価格下落の影響や海外における景気の下振れリスクなど、不透明な要素も引き続き存在しています。

しかしながら、社会全体として安全・安心への意識は依然として高いものがあります。家庭や産業の現場では引き続き事故が発生しており、その対策として改めてガス警報器が注目されています。ガスの自由化の動きも進んでいますが、保安については重要視されており、CO中毒事故をはじめガス事故防止のためのガス警報器の普及促進も、経済産業省や各ガス事業者を中心に取組まれています。さらにエネルギー構造の変化に伴う、例えば省エネルギーに対する社会全体の意識の変化や水素社会に向けた取り組みといったものも大きく感じられます。

このような環境の中で、ガスセンサを利用した保安機器や省エネルギーに貢献できる機器の開発を行う当社としましては、お客さまのニーズにお応えできる新商品の開発をより一層推し進めていく必要があると考えています。

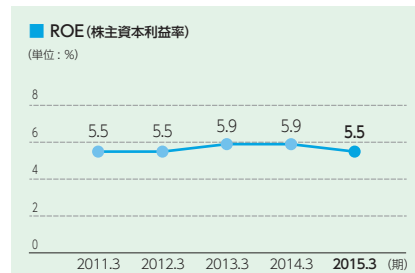
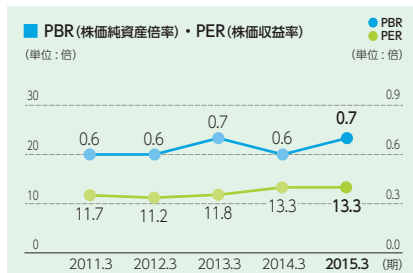
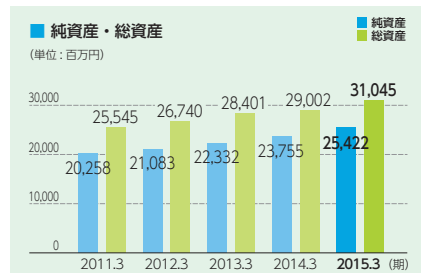
2015年度はセンサ工場の償却の増加や研究開発投資の増加により一時的に利益が減少する見込みです。計画は、通期の連結売上高は200億2千万円、経常利益は15億8千5百万円、当期純利益は10億1千4百万円として、事業活動に取り組んでいきます。

Q 最後に株主のみなさまへメッセージをお願いします。

A 2015年度は竣工したセンサ工場の償却の影響や将来を見据えた研究開発への投資などを積極的に行う計画としており、例年に比べて利益計画が厳しいものとなっています。しかしながら、これからの当社グループの成長に不可欠な投資でありますので、株主のみなさまにはご理解をいただきたく思っております。この計画を達成すべく今後もお客さまの視点に立った新商品の開発に一層注力して取り組んでいきます。そして営業・サービス体制および品質管理体制を強化し、みなさまに安全・安心をお届けしていきたいと考えています。

さらに経営の効率化のため、原価の低減や経費の削減などにも取り組み、業績の向上も図っていきます。

株主のみなさまにおかれましては、今後も当社グループへの一層のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



「中期経営計画2012-2014」のまとめ

Medium-term Management Plan

当社グループは2012年度より、「海外事業の拡大」「保安・防災分野での展開(ガス検知警報器事業の展開)」「ガスセンサの応用分野への注力(新規事業への注力)」を重点方針とした「中期経営計画2012—2014」を策定し、事業に取り組んでまいりました。

その最終年度である2014年度は、売上高191億8千9百万円、営業利益21億3千4百万円となり、売上は0.9%届きませんでしたが、営業利益は計画に対して108.9%と大きく達成して中期経営計画を終えることができました。(表)

▶ 表 2014年の実績

(単位：百万円)

	2014年度 (2015年3月期) 計画	2014年度 (2015年3月期) 実績	達成率
売上高	19,362	19,189	99.1%
家庭用	8,050	8,142	101.1%
工業用定置式	6,040	6,010	99.5%
業務用携帯型	4,810	4,781	99.3%
その他	462	254	54.9%
営業利益()内は営業利益率	1,959 (10.1%)	2,134 (11.1%)	108.9%

中期経営計画期間の成果としては、

①「海外事業の拡大」のための取り組みでは、韓国に事務所を開設。また、世界のLPガスに関わる企業や行政が一堂に会する「World LP Gas Forum」や「SEMICON Korea」へ出展を開始するなど海外事業拡大に注力いたしました。

②「保安・防災分野での展開」では、新JIS対応の酸素計のラインナップの整備や国内のガス検知器・警報器として初めて機能安全規格の認証を取得、都市ガス用ガス警報器で2014年

度グッドデザイン賞を受賞するなど、お客様のニーズにお応えした商品開発を行ないました。

③「ガスセンサの応用分野への注力」では、「換気扇コンローラ」が「学校施設優良部品」として推奨を受けるなど、省エネルギーや環境に配慮した商品展開を行ないました。

④「経営基盤の強化への取り組み」として掲げていた「新センサ工場の建設」については昨年9月に竣工を終え、本格的な生産に向けた準備を進めています(写真)。また、新基幹システムも導入し業務の効率化を進めています。

2015年度は売上高200億2千万円、営業利益率7.4%を計画しています。この計画達成に向け全社一丸となって取り組んでまいります。

▶ 写真 センサ工場外観



1 「IRフォーラム2015 大阪」で会社説明会を開催しました。

2015年2月27日、28日の二日間にわたりハービスHALLで開催された「IRフォーラム2015 大阪」で、個人投資家のみなさまを対象に会社説明会を行ないました。

この「IRフォーラム」は株式会社マジカルポケットが主催する個人投資家向けのIRイベントで、「キラリと光るいい会社を見つけるための個人投資家イベント」をテーマに、企業と個人投資家のみなさまがより理解を深めるためのコミュニケーションの場として開催されており、今回から開催日程も二日間と拡大し、例年以上に多くの方が訪れていました。

当社は27日に45分間の会社説明会を実施しましたが、定員100人の部屋が満席で追加で椅子を入れていただくほどたくさんの方の個人投資家の方にご参加いただくことができました。講演終了後も質問をしに前へ出てきてくださる方や「購入しようと思います」とお声をかけてくださる方などがおり、手ごたえを感じることができました。

今後もこのような個人投資家向けの説明会に積極的に参加して当社の認知度向上をはかっていきます。



2 「FC EXPO2015」に出展しました。

2015年2月25日から27日にかけて東京ビッグサイトにて開催された「FC EXPO2015～第11回水素・燃料電池展」に出展いたしました。

東京五輪・パラリンピック選手村の水素タウン化、自動車メーカー各社における水素自動車の開発・販売等水素への関心が非常に高まっている背景もあり、会場には多くの方がお越しになっていました。

当社ブースへの来場者数も昨年を大幅に上回り、一時は来場者対応が追い付かず、待っていただく状況が起こってしまうこともあるほどでした。当社ブースは「水素ステーション用ガス警報器」と明確なコンセプトを掲示していたことが集客要因になったのではないかと考えています。

来場者からは「水素を使った機器の製品開発を考えている」「水素で何かできることを探している」との声がよく聞かれました。また、水素の特性や警報器の必要性、仕組みを非常に熱心に聞かれる方も多くいらっしゃいました。

水素への関心の高まり、新たな産業構造ができあがりつつあることが感じられ、当社の水素用のガス検知警報器のPRにもつながったのではないかと思います。



事業・商品紹介と商品別営業の概況(連結)

Business & Products / Operating Results

家庭用ガス警報器

売上高	81億4千2百万円	前年比 6.7%	↓
-----	-----------	-------------	---

事業・商品 ご家庭の台所での万が一のガス漏れ、不完全燃焼を見張るガス警報器。寝室などで煙を感知してお知らせする火災警報器。大切な家族の命や財産を守り、毎日の暮らしに安心をお届けするため、商品のラインナップを充実させていきます。

営業の概況 都市ガス用につきましては、更新需要のない端境期による減少の影響を受け後退し、売上高は前期を下回りました。LPガス用につきましては、拡販に努めましたが販売が伸び悩み売上高は前期を下回りました。その結果、家庭用ガス警報器の売上高は81億4千2百万円(前期比6.7%減)となりました。



LPガス用ガス警報器

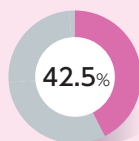


住宅用火災・CO警報器

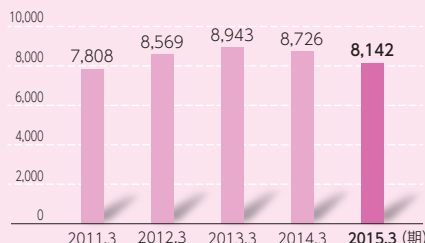


住宅用火災・都市ガス・CO警報器

売上高構成比



売上高の推移



工業用定置式ガス検知警報器

売上高	60億1千万円	前年比 9.8%	↑
-----	---------	-------------	---

事業・商品 ガスタンク、石油化学工場、半導体製造工場、水素ステーションなどでは、ガスの安全管理が不可欠です。お客さまのニーズにお応えするため、ガス検知警報器一体型から数千点のガス検知部を持つ大型システムまで、現場に応じた最適なシステムを提案・提供しています。

営業の概況 半導体業界および海外市場での需要が好調に推移し、売上高は60億1千万円(前期比9.8%増)となりました。

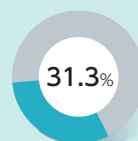


半導体材料ガス用
ガス検知部

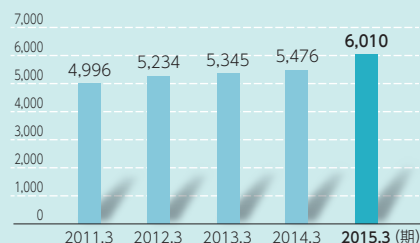


濃度表示機能付
ガス検知部

売上高構成比



売上高の推移



業務用携帯型ガス検知器

売上高	47億8千1百万円	前年比 6.7%	▲
-----	-----------	-------------	---

事業・商品 ガス配管からのガス漏れチェック、工事現場でのガス漏れ検知、酸欠・中毒事故防止のために使用される携帯用ガス検知器。作業者のみなさまが使いやすいように小型化・軽量化を目指して開発しています。また、センサユニット交換式など、使いやすさの追求もしています。

営業の概況 都市ガス業界向け可燃性ガス検知器および海外市場での需要が好調に推移し、売上高は47億8千1百万円(前期比6.7%増)となりました。



マルチ型ガス検知器

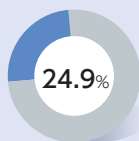


超小型ガス検知器



可燃性ガス探知器

売上高構成比



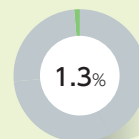
売上高の推移



その他

事業・商品 さまざまなニオイの強弱の測定、トルエン・キシレンなどの揮発性有機化合物(VOC)の現場での分析、換気扇の運転を自動でコントロールして、冷暖房の効率化で省エネに貢献する「換気扇コントローラ」。どれもガスセンサの応用から生まれました。独自のガスセンサ技術により、日々新しい可能性を追求しています。

売上高構成比



ポータブル型ホルムアルデヒド簡易測定器



換気扇コントローラ



ポータブルガス分析装置



ニオイセンサ

連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科 目	当 期 2015年3月31日現在	前 期 2014年3月31日現在
資産の部		
流動資産	19,056	20,126
現金及び預金	9,189	10,784
受取手形及び売掛金	6,037	5,855
たな卸資産	3,421	3,203
繰延税金資産	219	343
その他	274	248
貸倒引当金	△87	△308
固定資産	11,989	8,875
有形固定資産	6,569	4,936
建物及び構築物	2,722	825
機械装置及び運搬具	293	215
土地	2,881	2,881
建設仮勘定	199	639
その他	473	374
無形固定資産	534	648
投資その他の資産	4,885	3,290
投資有価証券	4,228	2,529
繰延税金資産	—	171
その他	658	592
貸倒引当金	△1	△3
資産合計	31,045	29,002

科 目	当 期 2015年3月31日現在	前 期 2014年3月31日現在
負債の部		
流動負債	4,436	4,018
支払手形及び買掛金	2,551	2,267
未払法人税等	267	362
賞与引当金	344	347
製品保証引当金	124	138
その他	1,148	902
固定負債	1,186	1,228
退職給付に係る負債	911	1,042
役員退職慰労引当金	198	177
その他	76	7
負債合計	5,623	5,246
純資産の部		
株主資本	24,098	23,031
資本金	1,460	1,460
資本剰余金	934	934
利益剰余金	21,990	20,923
自己株式	△285	△285
その他の包括利益累計額	1,210	615
その他有価証券評価差額金	974	517
為替換算調整勘定	138	82
退職給付に係る調整累計額	97	15
少数株主持分	113	107
純資産合計	25,422	23,755
負債純資産合計	31,045	29,002

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当 期 2014年4月 1 日から 2015年3月31日まで	前 期 2013年4月 1 日から 2014年3月31日まで
売上高	19,189	18,941
売上原価	10,317	10,182
売上総利益	8,872	8,759
販売費及び一般管理費	6,737	6,729
営業利益	2,134	2,029
営業外収益	112	117
受取利息及び配当金	48	42
その他	64	74
営業外費用	9	2
経常利益	2,237	2,143
特別利益	2	0
特別損失	126	29
税金等調整前当期純利益	2,113	2,114
法人税、住民税及び事業税	590	680
法人税等調整額	152	73
少数株主損益調整前当期純利益	1,370	1,359
少数株主利益	6	5
当期純利益	1,364	1,354

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当 期 2014年4月 1 日から 2015年3月31日まで	前 期 2013年4月 1 日から 2014年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	1,889	1,531
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,425	△1,932
財務活動による キャッシュ・フロー	△297	△272
現金及び現金同等物に 係る換算差額	44	61
現金及び現金同等物の 増減額	△1,788	△613
現金及び現金同等物の 期首残高	10,674	11,246
合併に伴う現金及び 現金同等物の増加額	—	41
現金及び現金同等物の 期末残高	8,886	10,674

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別財務諸表

Non-consolidated Financial Statements

個別貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科 目	当 期 2015年3月31日現在	前 期 2014年3月31日現在
資産の部		
流動資産	15,323	16,847
固定資産	11,473	8,477
有形固定資産	6,046	4,403
無形固定資産	527	640
投資その他の資産	4,898	3,432
資産合計	26,797	25,324
負債の部		
流動負債	4,511	4,099
固定負債	1,098	1,082
負債合計	5,609	5,182
純資産の部		
株主資本	20,212	19,624
資本金	1,460	1,460
資本剰余金	934	934
利益剰余金	18,104	17,515
自己株式	△285	△285
評価・換算差額等	974	517
その他有価証券評価差額金	974	517
純資産合計	21,187	20,141
負債純資産合計	26,797	25,324

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

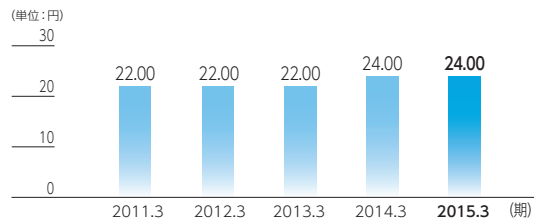
個別損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	当 期 2014年4月 1 日から 2015年3月31日まで	前 期 2013年4月 1 日から 2014年3月31日まで
売上高	19,157	18,957
売上原価	12,360	12,109
売上総利益	6,797	6,848
販売費及び一般管理費	5,490	5,584
営業利益	1,306	1,264
営業外収益	168	110
営業外費用	9	2
経常利益	1,465	1,372
特別損失	126	29
税引前当期純利益	1,339	1,342
法人税、住民税及び事業税	304	384
法人税等調整額	148	82
当期純利益	886	876

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

配当金推移表



期末配当金

2015年3月期の期末配当金につきましては
1株当たり24円とさせていただきます。

ポケット型可燃性ガス検知器「XA-380」を開発しました



各種作業現場では、爆発危険防止や酸欠防止、中毒防止のために各種ガス検知器が日常的に使われています。中でもガス製造所や石油化学工場など可燃性ガスが存在する現場では万が一のガス漏れに備え、作業時や巡回点検時の作業員の安全確保のため、身に付けるタイプの可燃性のガス検知器が必要とされます。

この度開発したポケット型可燃性ガス検知器「XA-380」は、当社独自の超小型接触燃焼式センサを搭載。従来のポケット型の可燃性ガス検知器よりも連続使用時間を大幅に延ばし、アル

カリ単4形乾電池1本で34時間以上の連続使用が可能となりました。また重さ約63gの小型・軽量設計で、胸ポケットなどに装着してお使いいただく際でも作業の邪魔になりません。

さらに、最も防爆基準が厳しい水素防爆に対応。防沫・防塵構造(IP54相当)なので雨天時に屋外での使用が可能と、従来品から機能の向上を図りました。

メタン用・イソブタン用・水素用をラインナップ。ガス製造所、石油化学工場、水素関連施設などでの作業員の安全確保に役立ちます。

フロンガス警報器「CHR-100」を開発しました



空調機器や冷凍機器に使用される冷媒が室内に漏れた場合、ある一定濃度を超えると酸欠による窒息等になる恐れがあります。特にビルなどに設置されているマルチ型パッケージエアコンでは、一つの部屋で冷媒漏えいが発生した場合、使用している大量の冷媒がその部屋に全て漏れ出す恐れがあります。そのため、一般社団法人日本冷凍空調工業会が制定した「JRA GL-13 マルチ型パッケージエアコンの冷媒漏えい時の安全確保のための施設ガイドライン」に基づいた対策が必要となります。

この度開発したフロンガス警報器「CHR-100」は、このガイドラインに対応。スイッチボックスに取り付けて壁面に収めることができるため、従来品に比べスッキリと設置ができ足元で邪魔になりません。また、センサ劣化等が発生した場合のメンテナンス作業では、従来品では機器を丸ごと交換する必要がありましたが、「CHR-100」ではセンサを含むパネル部分のみの交換が可能で、一次側の電源遮断や電気工事の必要なく交換作業が簡単に行えます。

株式の状況

Stock Information

株式の状況 (2015年3月31日現在)

発行可能株式総数 50,000,000株

発行済株式の総数 12,561,000株

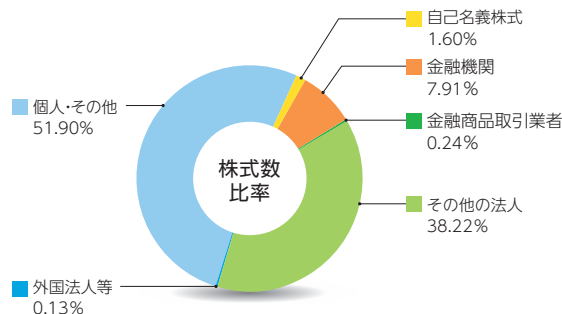
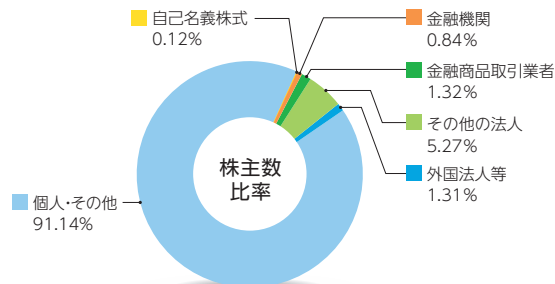
株主数 835名

大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
岩谷産業株式会社	2,601(千株)	21.05(%)
有限会社アール・ケイ	572	4.63
新コスモス電機取引先持株会	519	4.20
笠原 美都子	475	3.85
新コスモス電機従業員持株会	458	3.71
柴田 芳市	456	3.69
大阪瓦斯株式会社	442	3.58
第一生命保険株式会社	385	3.11
齋賀 優子	371	3.01
重盛 徹志	342	2.77

(注) 1. 持株比率は自己株式(200,890株)を控除して計算しております。

2. 発行済株式の総数には自己株式(200,890株)を含んでおります。



株価の推移



ネットワーク

Network

事業所 (2015年6月26日現在)

本社・工場・西日本支社 〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-5-4
TEL.(06)6308-3112

東日本支社 〒105-0013 東京都港区浜松町2-6-2
浜松町262ビル TEL.(03)5403-0511

中部支社 〒461-0004 名古屋市東区葵3-15-31
千種第2ビル TEL.(052)933-1680

札幌営業所 〒060-0005 札幌市中央区北五条西6-2-2
札幌センタービル TEL.(011)231-1101

仙台営業所 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-12-7
ティエヌビルディング TEL.(022)295-6061

新潟営業所 〒950-0916 新潟市中央区米山3-1-201
ファースト米山 TEL.(025)365-1390
※2014年6月9日に上記住所へ移転いたしました。

静岡営業所 〒420-0851 静岡県静岡市葵区黒金町11-7
三井生命静岡駅前ビル2F TEL.(054)255-1901
※2014年9月22日に上記住所へ移転いたしました。

北陸営業所 〒920-0065 金沢市二ツ屋町8-1
アーバンユースフルビル
TEL.(076)234-5611

岡山営業所 〒712-8051 倉敷市中畝2-8-22
岡一ビル 1F
TEL.(086)456-5200

広島営業所 〒732-0827 広島市南区稻荷町2-16
広島稲荷町第一生命ビル
TEL.(082)568-2800

九州営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-1-1
NORITZビル TEL.(092)431-1881

北関東出張所 TEL.(048)643-1223

千葉出張所 TEL.(043)209-1650

神奈川出張所 TEL.(045)473-6451

京滋出張所 TEL.(077)526-8222

姫路出張所 TEL.(079)225-8965

海外事務所 台湾事務所
韓国事務所

主な関係会社 (2015年6月26日現在)

新コスモス電機メンテナンス株式会社
コスモスサービス株式会社
イズモ電機株式会社
新考思莫施電子(上海)有限公司
NEW COSMOS - BIE B.V.(オランダ)



会社概要

Corporate Profile

会社概要 (2015年3月31日現在)

社 名 新コスモス電機株式会社
 設 立 1960年6月15日
 資 本 金 1,460百万円
 従業員数 405名
 主要商品 家庭用ガス警報器
 LPガス警報器／都市ガス警報器／CO警報器／住宅用火災警報器／
 LPガス集中監視システム 等
 工業用定置式ガス検知警報器
 各種ガス検知警報器／総合ガス保安管理システム／電力線搬送方式ガス漏洩
 監視システム／シールド工事用ガス監視システム 等
 業務用携帯型ガス検知器
 可燃性ガス検知器／毒性ガス検知器／酸素濃度計／複合型ガス検知器 等
 その他
 ニオイセンサ／室内空気汚れセンサ 等

ホームページのご案内

当社に関する情報は、当社ホームページでも
 ご覧いただけます。ぜひ一度アクセスください。



<http://www.new-cosmos.co.jp/>

役 員 (2015年6月26日現在)

代表取締役社長	重 盛 徹 志
取締役副社長執行役員	松 原 義 幸
取締役副社長執行役員	高 橋 良 典
取締役常務執行役員	飯 森 龍
取締役上席執行役員	金 井 隆 生
取締役上席執行役員	相 川 勝之助
取締役上席執行役員	別 府 辰 人
取締役上席執行役員	竹 内 徹
社外取締役	谷 本 光 博
常勤監査役	前 條 忠 則
社外監査役	池 上 久 雄
社外監査役	山 岸 和 彦

執行役員 (2015年6月26日現在)

執行役員 品質管理本部長	引 田 弘 明
執行役員 海外営業本部第二営業部長	山 下 栄 二
執行役員 センサ本部長	中 谷 幹 哉
執行役員 海外営業本部第一営業部長	王 宏 仁
執行役員 リビング営業本部 中部地区営業統括部長 兼 インダストリ営業本部 中部地区営業統括部長	加 藤 雅 夫
執行役員 インダストリ営業本部 営業開発部長	岩 見 知 明
執行役員 生産本部長	前 川 芳 郎
執行役員 インダストリ営業本部 西日本営業部長 兼 西日本支社長	安 本 哲 也

見通しに関する注意事項

本報告書に記載している将来に関する予測については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。
 実際の業績は、さまざまな要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

株主メモ

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL.0120-094-777(通話料無料)
上場市場 東京証券取引所 JASDAQ市場
公告掲載新聞 日本経済新聞
貸借対照表および損益計算書掲載のホームページアドレス
<http://www.new-cosmos.co.jp/kessan/index.htm>

(ご注意)

1. 株主さまの住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

(ご案内)

1. 平成26年以降の上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について

平成26年1月1日以降に個人の株主さまが支払いを受ける、上場株式等の配当等には、原則として**20.315%**(※)の源泉徴収税率が適用されます。

(※) 所得税 15%、復興特別所得税 0.315%、住民税 5%。

なお、株主さまによっては本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、最寄りの税務署、税理士等にお問合せください。

2. 少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「**株式数比例配分方式**」をお選びいただく必要があります。なお、期末または中間配当金につき「株式数比例配分方式」をご利用いただくためには、それぞれ上記の期末または中間の「配当金受領株主確定日」までにお手続きを完了しておく必要がありますのでお気を付けください。

また、ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主さまは「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

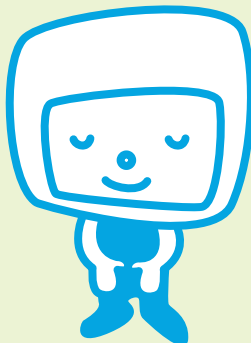
NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問合せください。

○ 本ご案内は平成26年1月時点の情報をもとに作成しております。



新コスモス電機株式会社

当社では、株主のみなさまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



株主のみなさまの声を聞かせください

株主さま向けアンケート

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード
6824

いいかぶ

検索



空メールにより
URL自動返信



kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝
(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問合せ「e-株主リサーチ事務局」

TEL:03-5777-3900 (平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com



みんなでシェアして、低炭素社会へ。

新コスモス電機株式会社は、Fun to Shareに賛同しています。